

第45回黒部川土砂管理協議会での意見と対応について

No.	第45回協議会における主な意見		対応方針
1	海域における水質調査結果の評価について	海域において、SS濃度が一時的に高い値を示すなど、漁業に関する影響等が懸念されている。	一時的な観測値の捉え方など環境影響評価について引き続き「黒部川ダム排砂評価委員会」においてご審議頂くとともに、その結果について関係団体に対しても丁寧に説明して参りたい。
2	河道内の堆積土砂等の扱いについて	河道内に堆積した土砂の除去、並びに流木・雑木の処理を早く行うべきである。	30年度連携排砂終了後より流路の確保等のための部分的な掘削、伐採を行ったところ。今年度においても河道掘削及び樹木伐採工事を発注したところであり、できるだけ速やかに対応する。(別紙)
3	連携操作の方法等について	30年度の連携排砂においては土砂堆積が目立った。より自然に近い形を目指した排砂について、専門的な知見から総合的に検討すべきである。	より自然に近い形での土砂動態を目指し、排砂時の連携操作の方法について検討を行う。
4	生物学的な調査の充実について	物理的・化学的な調査が主になっているが、魚類等の海洋生物に与える影響等の生物学的な観点からの調査も行って欲しい。	水生生物への影響調査については、特定の海域での環境条件の特性を表現しやすい調査指標として底生生物及び動・植物プランクトンの変化を確認してきたところであり、今年度は経年的な傾向変化等を分析し、影響を詳細に評価してまいりたい。また、有識者のご指導、ご助言のもと、より有効な方法がある場合は、その実施について検討してまいりたい。
5	深海を対象とした調査について	漁業者から要望がある深海漁場の調査を実施して欲しい。	有識者、県水産研究所、関係団体に相談しながら、今年度に調査を行う予定。
6	漁業振興策について	漁業者からの意見をよく聞いて漁業振興策について具体的に对应して欲しい。	漁業振興策としてどのような事ができるか、関係機関・関係団体と相談しながら考えて参りたい。
7	瀬・淵環境の監視について	サクラマスやサケ、アユ等は重要な水産資源であり、瀬や淵の状況をしっかり監視し、必要に応じて堆積した土砂の撤去に取り組んで欲しい。	関係団体の意見もうかがいながら、引き続き河道の状況把握に努め対応して参りたい。

令和元年度 掘削・伐採 予定箇所 (5月現在)



凡例
黄色: 実施済み箇所
赤色: 今年度実施予定